

禁 転 載 複 製
当 日 配 付
試 験 終 了 後 公 開

2026年度 技能検定

1 級ガラス用フィルム施工学科試験問題

（建築フィルム作業）

1. 試験時間 1 時間 1 0 分

2. 問題数 5 0 題（A群 25題、B群 25題）

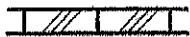
3. 注意事項

- ① 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
- ② 答案用紙には、級別、受検番号及び氏名を必ず記入してください。
- ③ 試験問題がこのページを含め 8 ページあるかを確認してください。
異常がある場合は、黙って手を挙げてください。
問題は、A群（真偽法）とB群（多肢択一法）とに分かれています。
- ④ 試験開始の合図で始めてください。
- ⑤ 解答は、答案用紙の解答欄に記入することとし、解答の方法は次のとおりです。
イ A群の問題（真偽法）は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断し、
正しいと思うものには「○」を、誤っていると思うものには「×」を記入してください。
ロ B群の問題（多肢択一法）は、正解と思うものを一つだけ選んで、「イ、ロ、ハ又はニ」の
記号を記入してください。二つ以上記入した場合は誤答となります。
- ⑥ 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- ⑦ 携帯電話等は、使用してはいけません。
- ⑧ 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の
読み方等に関する質問には答えられません。
- ⑨ 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従って
ください。
- ⑩ 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
- ⑪ 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- ⑫ 本試験問題の解答に当たり適用すべき法令、規格等は、2026年4月1日現在で施行
されている内容に基づくものとします。

1級 ガラス用フィルム施工(建築フィルム作業)学科問題

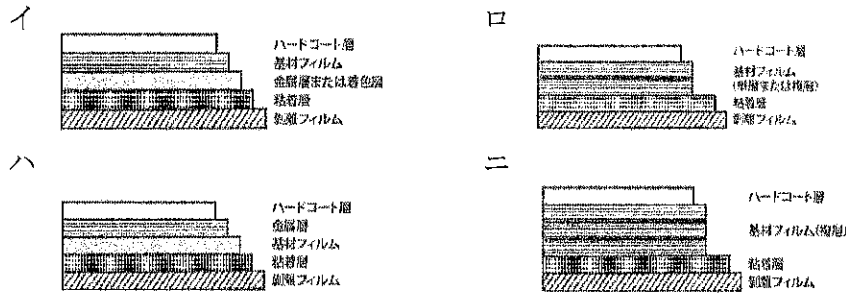
真偽法

- 問題 1 太陽光線は大気圏を通る際、オゾン、水蒸気、二酸化炭素などによる吸収や大気の散乱で、その約30%が失われる。
- 問題 2 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス貫通防止性能は、鋼球の落下高さによる試験において、AとBに区分されている。
- 問題 3 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、規定されているフィルムの種類は5種類である。
- 問題 4 遮蔽係数は厚さの呼び3ミリの透明板ガラスの日射熱取得率を1としたときの、フィルムを貼り付けた板ガラスの日射熱取得率の比率である。
- 問題 5 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス飛散防止性能は、対応する破壊を想定して3種類に区分されている。
- 問題 6 建築窓ガラス用フィルムの粘着剤には、主に、シリコーン系の樹脂が塗布されている。
- 問題 7 建築窓ガラス用フィルムに使用される基材フィルムの材質は、主にポリ塩化ビニルである。
- 問題 8 夏季におけるフィルム施工工事においては、熱中症対策として半袖の作業服を着用してもよい。
- 問題 9 労働安全衛生法関係法令によれば、脚立の脚と水平面との角度は、75度以下としなければならないと規定されている。
- 問題 10 施工要領書は、施工計画書に基づいて施工者又は管理者が作成する。
- 問題 11 建築窓ガラス用フィルムを強化ガラスに施工する場合は、ガラスの熱割れについて検討しなければならない。
- 問題 12 建築窓ガラスフィルム工事において、施工液に中性洗剤を使用するのは、洗浄効果を向上させるためである。
- 問題 13 清掃用器工具として、スクレーパーは洗浄液の水切りに使用する。
- 問題 14 フィルムを縦積みで保管する場合、フィルムの小口面を痛めないように注意する。
- 問題 15 建築窓ガラス用フィルムを重ね切り工法で貼る場合、フィルムは、先貼りするフィルムの突き付け位置より50mm程度突き出してガラスに仮止めするとよい。
- 問題 16 ガラス貫通防止フィルムの裁断は、フィルムのハードコート層又は剥離フィルム層のいずれの層から行ってもよい。

- 問題 17 フィルム施工のガラス面清掃は、ガラスの種類に関係なくスクレーパーで付着物を取り除く。
- 問題 18 ガラス貫通防止フィルムの施工の際に作成する施工明細書は、施工者の責任を明確にするためのものである。
- 問題 19 鉄筋コンクリート造において、柱と梁で構成する構造を、ラーメン構造という。
- 問題 20 建築窓ガラスフィルムの改修工事で、フィルムを剥がした後のガラス面に残った粘着剤は、溶剤を用いて除去する。
- 問題 21 Low-Eガラス（低放射ガラス）は、主に日射を遮蔽するために用いられる。
- 問題 22 サッシは、いわゆる窓枠のことであり、ガラスなどのグレージングは含まない。
- 問題 23 日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、下図は、普通ブロック壁を表す材料構造表示記号である。
- 
- 問題 24 消防法によれば、建物の地上階のうち、避難上又は消火活動上有効な開口部を有していない階を「無窓階」としている。
- 問題 25 労働安全衛生規則によれば、墜落制止用器具（安全帯）は、胴ベルト型（U字つり）の使用が原則である。

- 問題 1 文中の（ ）内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
光の波長を示す単位として用いられる μm （マイクロメートル）は、 mm （ミリメートル）の（ ）である。
イ 1/10（十分の一）
ロ 1/100（百分の一）
ハ 1/1000（千分の一）
ニ 1/1000000（百万分の一）
- 問題 2 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス飛散防止フィルムの性能として、規定されていないものはどれか。
イ 紫外線透過率
ロ 粘着力
ハ 耐候性
ニ 伸び
- 問題 3 日本産業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、外貼り用層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルムを表す記号はどれか。
イ GD-1
ロ GD-2
ハ GD-3
ニ GD-4
- 問題 4 フィルムの性能に関する記述として、適切なものはどれか。
イ 熱貫流率が大きいほど、断熱効果は大きい。
ロ 遮蔽係数が小さいほど、遮蔽性能は小さい。
ハ 層間変位破壊対応ガラス飛散防止フィルムは、ガラス飛散防止率が95%以上でなければならない。
ニ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルムは、粘着力の大きさによって区分されている。
- 問題 5 建築窓ガラス用フィルムを貼り付けた厚さ5mmの板ガラスの熱貫流率が $4\text{W}/(\text{m}^2 \cdot \text{K})$ とすると、窓の面積が 2m^2 、室内の温度が 20°C 、屋外温度が 10°C の場合の単位時間当たりの流失熱量として、正しいものはどれか。
イ 20W
ロ 40W
ハ 80W
ニ 120W
- 問題 6 建築窓ガラス用フィルムの構成材料に関する記述として、適切でないものはどれか。
イ ハードコートのはきは、 $2\sim 3\mu\text{m}$ 程度である。
ロ 基材フィルムの厚さは、 $5\sim 10\mu\text{m}$ 程度である。
ハ 粘着層の厚みは、 $10\sim 30\mu\text{m}$ 程度である。
ニ 剥離フィルムの厚さは、 $25\mu\text{m}$ 以上である。

問題 7 ガラス貫通防止フィルムの基本構成はどれか。



問題 8 労働安全衛生法関係法令によれば、移動はしごに関する記述として適切でないものはどれか。

- イ 丈夫な構造で、材料は著しい損傷、腐食等がないこと。
- ロ 幅は 20 cm 以上であること。
- ハ すべり止め装置を取り付けなければならない。
- ニ 転位を防止する措置を講じなければならない。

問題 9 労働安全衛生関係法令によれば、高所における足場の作業床として適切でないものはどれか。

- イ 高さ 2.5 m の作業場所に作業床を設けた。
- ロ 床材のすき間を 3 cm 以下とした。
- ハ 最大積載荷重を定めた。
- ニ 幅を 30 cm とした。

問題 10 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

建物の窓ガラスにガラス貫通防止フィルムを突き付け貼り工法で施工する場合、作業員 1 人の 1 日の作業能力は、一般に、()m²程度が標準である。

- イ 5
- ロ 10
- ハ 15
- ニ 20

問題 11 窓ガラスとフィルムの組み合わせとして、熱割れの可能性が最も大きいものはどれか。

- イ フロート板ガラスと日射吸収率が 10% の内貼り用フィルム
- ロ フロート板ガラスと日射吸収率が 60% の内貼り用フィルム
- ハ 熱線吸収板ガラスと日射吸収率が 10% の内貼り用フィルム
- ニ 熱線吸収板ガラスと日射吸収率が 60% の内貼り用フィルム

問題 12 文中の()内にあてはまるものとして適切なものはどれか。

フィルム工事に使用する器具には、その用途により清掃用、フィルム裁断用、フィルム貼り用、()、フィルム剥がし用などがある。

- イ 型取り用
- ロ 熱成型用
- ハ 養生用
- ニ 補修用

- 問題 13 ガラス飛散防止フィルムの施工に使用する器具に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ スキージーに、ゴム製のものを使用した。
 - ロ スキージーに、プラスチック製のものを使用した。
 - ハ フィルムの裁断に、大型のカッターナイフを使用した。
 - ニ フィルムの裁断に、小型のカッターナイフを使用した。
- 問題 14 建築窓ガラス用フィルムの現場への搬入・保管に関する記述として、適切なものはどれか。
- イ 作業効率を上げるために、1 週間分の材料を一度に搬入した。
 - ロ 本日の作業が終了したので、材料を持ち帰った。
 - ハ 屋外に保管する際は雨のおそれがあるため、シートを 2 重にした。
 - ニ 現場でスペースがなかったため、湿気の多い場所に保管した。
- 問題 15 建築窓ガラス用フィルムの突き付け貼り工法に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ 突き付け位置は、原則として、ガラス中央部とする。
 - ロ 突き付け方向は、窓ガラスの縦方向とする。
 - ハ 突き付けの隙間は、フィルムの種類によらず 1.5 mm 程度とする。
 - ニ 突き付けは、ロールの同一エッジが隣り合うように施工する。
- 問題 16 建物の窓ガラスへの日射調整フィルムの施工順序として、最も適切なものはどれか。
- イ フィルムの裁断 → 養生 → サッシ・ガラスの清掃 → フィルムの貼り付け → 養生材の撤去・清掃 → フィルムの仕上げ
 - ロ ガラスの清掃 → フィルムの裁断 → 養生 → フィルムの貼り付け → フィルムの仕上げ → 養生材の撤去・清掃
 - ハ 養生 → サッシ・ガラスの清掃 → フィルムの裁断 → フィルムの貼り付け → フィルムの仕上げ → 養生材の撤去・清掃
 - ニ フィルムの裁断 → サッシ・ガラスの清掃 → 養生 → フィルムの貼り付け → フィルムの仕上げ → 養生材の撤去・清掃
- 問題 17 ガラス貫通防止フィルムによる建築窓ガラス工事に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ フィルムの裁断は、カッティングマットの上で行う。
 - ロ シーリング材又はガスケットとの隙間は、5 mm を標準とする。
 - ハ 圧着による施工液の押し出しは、上部から下部へ、中央部から周縁部に向かって行う。
 - ニ 施工液を押し出すための圧着は、2 回以上行うのがよい。
- 問題 18 フィルム施工後の養生に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ 日射調整フィルムの養生期間は、夏期は 1～2 週間である。
 - ロ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルムの養生期間は、冬期は 1 ヶ月程度要することがある。
 - ハ ガラス貫通防止フィルムの養生期間は、夏期は 3 ヶ月以上要する。
 - ニ 施工後、空調設備を作動させると、養生期間を短縮させることができる。

問題 19 次の工事のうち仕上工事に含まれないものはどれか。

- イ 内装工事
- ロ 防水工事
- ハ 建具工事
- ニ 舗装工事

問題 20 フロート板ガラスへ施工されたフィルムの改修工事において、以下の記述のうち適切でないものはどれか。

- イ 剥がすフィルムの加湿にポリエチレンフィルムを用いた。
- ロ 粘着剤をスクレーパーを用いて掻きとった。
- ハ 強化ガラスではないため、特に注意せずにフィルムを切断した。
- ニ フィルムの剥がし作業後、ガラス面を洗浄液で清掃した。

問題 21 延焼の恐れのある開口部に使用できる板ガラスはどれか。

- イ 網入板ガラス
- ロ 強化ガラス
- ハ 熱線反射ガラス
- ニ 複層ガラス

問題 22 日本産業規格(JIS)のサッシによれば、サッシの性能として規定されていないものはどれか。

- イ 気密性
- ロ 断熱性
- ハ 遮音性
- ニ 耐震性

問題 23 日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、下図の平面表示記号が表すものはどれか。

- イ シャッター
- ロ 引違い窓
- ハ 引違い戸
- ニ 出入口一般



問題 24 文中の（ ）内にあてはまるものとして適切なものはどれか。

建設業法では、ガラス工事などの工事を施工する場合には、1件の工事請負代金が（ ）万円未満の軽微な工事の範囲を超えれば建設業許可を受ける必要があると定められている。

- イ 300
- ロ 500
- ハ 800
- ニ 1000

問題 25 ゴンドラの操作ができる者はどれか。

- イ 大型運転免許証所持者
- ロ 普通運転免許証所持者
- ハ 労働安全衛生法による技能講習修了者
- ニ 労働安全衛生法による特別教育修了者

2026年度技能検定
ガラス用フィルム施工学科試験正解表

級別	1 級
----	-----

作業名	建築フィルム作業
-----	----------

A 群（真偽法）	
問題 番号	正 解
1	○
2	○
3	○
4	○
5	×
6	×
7	×
8	×
9	○
10	×
11	×
12	×
13	×
14	×
15	×
16	×
17	×
18	○
19	○
20	×
21	×
22	○
23	○
24	○
25	×

B 群（多肢択一法）	
問題 番号	正 解
1	ハ
2	イ
3	□
4	ハ
5	ハ
6	□
7	ニ
8	□
9	ニ
10	イ
11	ニ
12	ハ
13	ハ
14	□
15	ハ
16	ハ
17	□
18	ハ
19	ニ
20	ハ
21	イ
22	ニ
23	□
24	□
25	ニ